

平成26年度

鹿児島県大島郡宇検村一円地内

平成26年度 宇検村橋梁長寿命化修繕計画

公 表 資 料

平成27年3月

(令和4年11月更新)

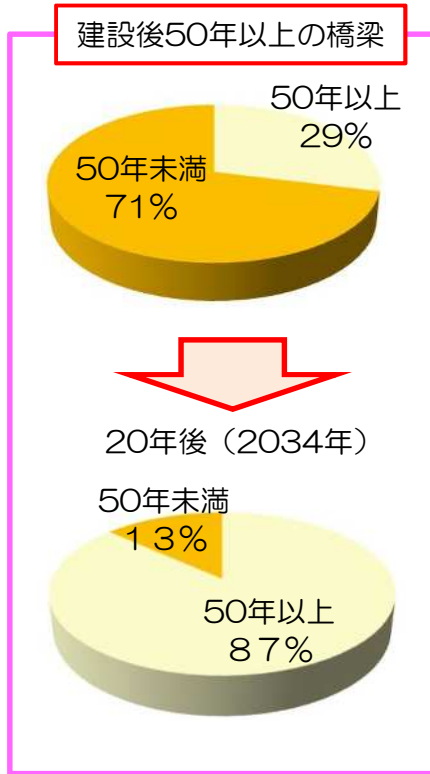
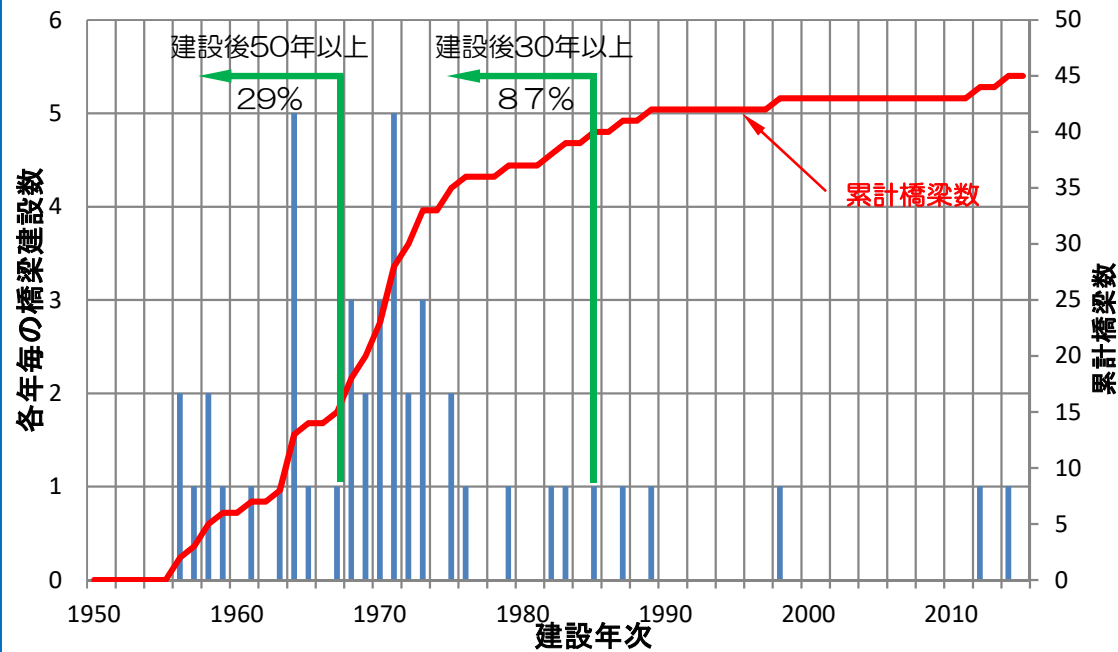
宇 検 村 役 場 建 設 課

宇検村 橋梁長寿命化修繕計画

1 橋梁長寿命化修繕計画の背景と目的

宇検村が管理する橋梁は2014年度現在で45橋あります。このうち建設後50年を経過する橋梁は全体の29%程度を占め、20年度の2034年には91%程度に増加します。これらの橋梁の急速な老朽化が進むことにより、修繕・架け替えに要する費用が増大することが予想されます。そこで、これまでの損傷が大きくなってからの修繕や橋の架け替えという従来の事後保全型から、損傷が少ない段階で修繕を行い橋梁の延命化を図る**予防保全型**への転換を図ります。

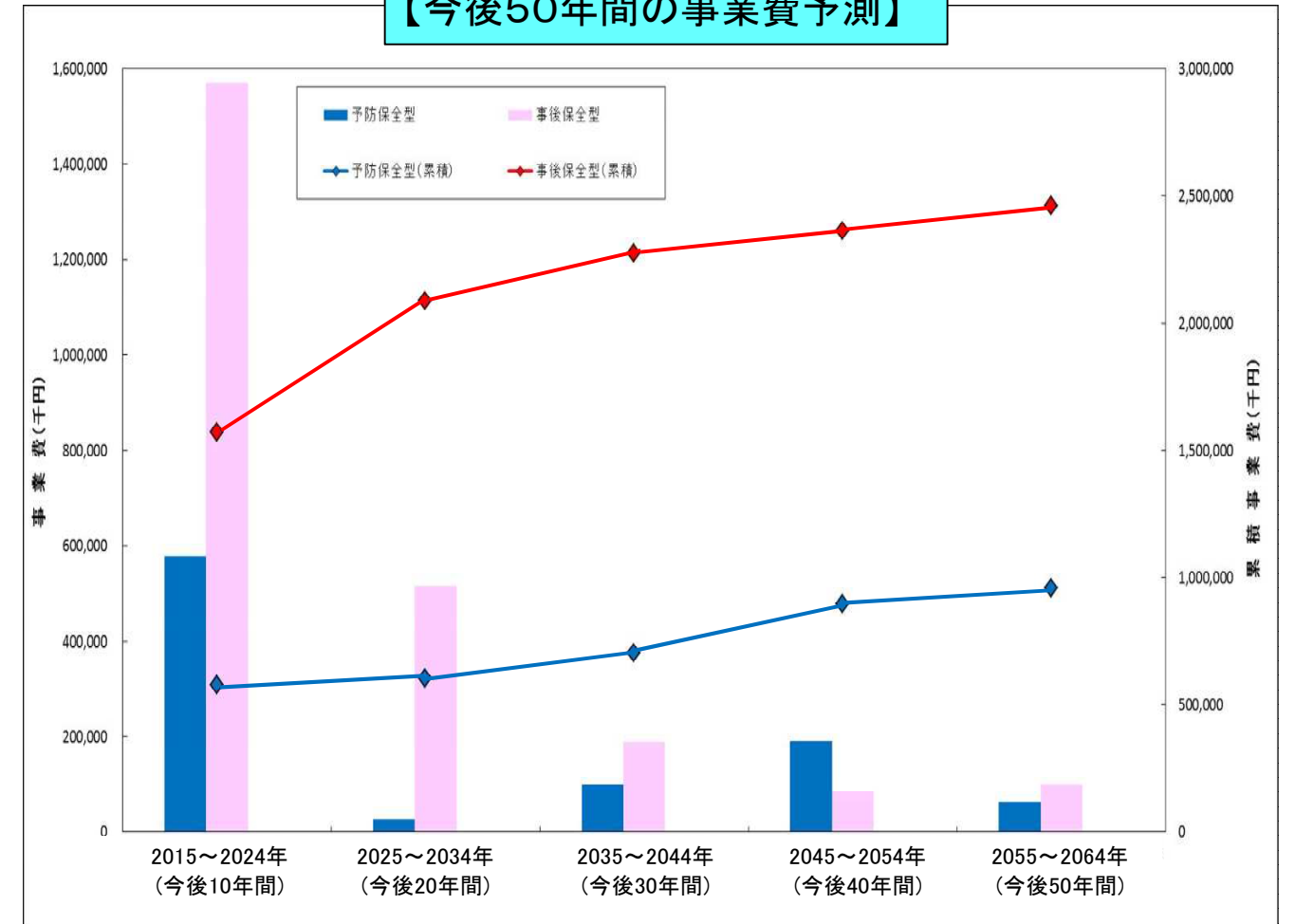
これらを踏まえ宇検村では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化計画を策定します。



3 橋梁長寿命化修繕計画の効果

長寿命化修繕計画を策定する橋梁について、今後50年間(2015~2064)の事業費を試算し比較すると、従来の事後保全型(約25億円)に対して、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型(約10億円)とすることで、約60%(約15億円)のコスト削減が見込まれます。

【今後50年間の事業費予測】



2 橋梁長寿命化修繕計画の取り組み方針

【基本方針】

事後保全型の修繕から予防保全型の修繕へ政策転換を図り、より効果的で経済的な施設の維持管理を目指した維持管理計画を策定を行います。

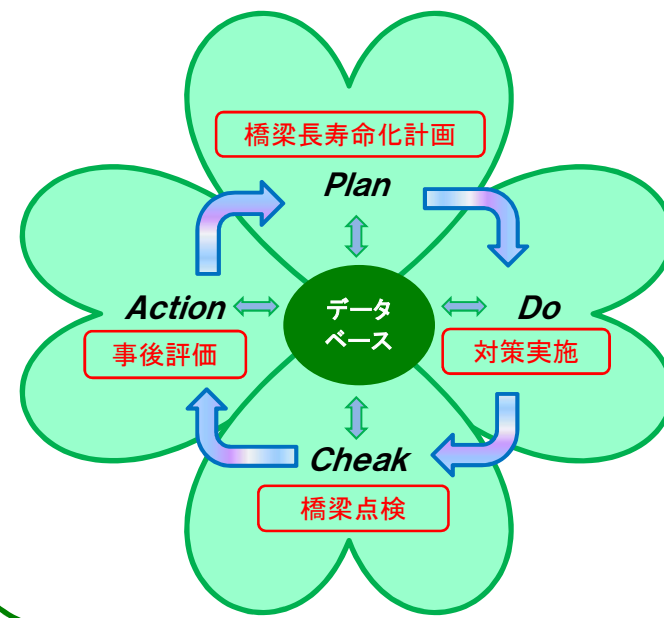
維持管理として、『橋梁長寿命化計画』～『対策実施』～『橋梁点検』～『事後評価(計画見直し)』というPDCAのサイクルで橋梁マネジメントシステムの運用を行います。

【橋梁点検】

日常点検(パトロール)、定期点検(5年サイクルで近接目視)、異常時点検を行い、橋梁の損傷を早期に発見するとともに、健全度の把握を行います。日常点検においては、橋面の変状点検と共に、橋梁の清掃を実施し、劣化を未然に防止することで、予防保全に努めます。



橋梁マネジメントシステム



4 意見を頂いた学識経験者、および計画策定部署

宇検村橋梁長寿命化修繕計画の策定においては、以下の学識経験者のご意見・ご助言を頂いております。

鹿児島大学大学院 理工学研究科 海洋土木工学専攻	武若 耕司 教授
鹿児島大学大学院 理工学研究科 海洋土木工学専攻	山口 明伸 教授

《計画策定部署》



宇検村役場 建設経済課
〒894-3392 鹿児島県大島郡宇検村湯湾915
TEL: 0997-67-2211
FAX: 0997-67-2262

◎対策の基本的な方針

1. 宇検村は、平成26年度策定橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、ライフサイクルコストの縮減に取り組むとともに、新技術を活用することで、点検・修繕時に要する費用の縮減に取り組めます。また施設の集約化・撤去の検討を積極的に行い、費用の縮減を目指します。
2. 橋梁の集約化・撤去
 損傷が激しい橋梁については、迂回路の有無、利用状況等を考慮し、地域及び利用者の意見を踏まえながら令和7年度までに1橋程度の集約化・撤去を検討し、費用縮減を目指します。
3. 新技術の活用
 宇検村の管理橋について、費用縮減や品質確保および工期短縮の可能性が高いとされ、新技術情報システム(NETIS)に登録された新技術等を積極的に活用することを目指します。
 今後5年で、管理する橋梁のうち3橋で新技術の活用を目指します。
4. 費用縮減
 橋梁の集約化・撤去に伴い、集約化の対象となる橋梁の修繕及び定期点検にかかる費用として、令和7年度までに3百万円の費用縮減を目指します。

◎長寿命化計画による効果

1. 長寿命化計画を策定する45橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型(更新型)が約25億円に対し、長寿命化の実施による予防保全型が約10億円となり、コスト縮減効果は約15億円となります。
2. また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保されます。

【今後50年間の事業費予測】

